

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、 自分の意見をしっかりと語れる子ども

取組目標

歴史・人・自然・もの・未来につなげる ESD!
ふるさとに夢と誇りを持とう・故郷の良さを発見！ ふるさとの良さを発信！
ふるさとの文化をつないでいこう！地域ぐるみで特産品を作ろう！

今年度の取組紹介

24年目が終わる「アルミ缶回収活動」は、当時の中学校生徒会の呼びかけで始まりました。今では地域福祉協議会、ボランティア愛歩21、地域住民、学校が一つになり継続して実施しています。今年度は、6台の車いすを寄贈することができ、これで今までに寄贈した福祉機器は132台になりました。この取組は環境保全の面でも認められ、今年度はきれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会と第20回環境美化教育優良校等表彰の2つの大きな表彰をしていただきました。

8月1日には交流のつどいin月ヶ瀬を開催、地域、学校が一体となって準備に取り組み、当日は地域・教職員など346名もの方に来ていただき、素晴らしい交流ができました。参加者の方にも月ヶ瀬の魅力を肌で感じていただく良い機会となりました。

さらに今年度は、公民館等社会教育との連携し、烏梅を使った紅花染めなど地域の特産物の商品化の可能性にも挑戦しました。パッケージのデザインのアイデアを児童生徒が考えたり、地域と学校と一緒に紅花染め商品を作ったりし、月ヶ瀬梅溪早春マラソン時には外部に向けて発信ができました。



📍
令和元年8月1日に開催された「交流のつどいin月ヶ瀬」



📍
地域、学校が一緒になって取り組んだ「紅花染め」

今年度のまとめ

今年度はまず大きな成果として2点挙げるができます。まず一つめは交流のつどいin月ヶ瀬を開催することができたこと、二つめはアルミ缶回収活動が環境美化の面からも評価をしていただいたことです。どちらも地域として大きな自信と励みとなりました。今後もこのような機会があれば、積極的に取り組んでいきたいと思えます。

また、地域・学校が一体となって商品化や広く発信していくための仕組みとして、公民館などの社会教育との連携に取り組み始めたことも成果といえます。今年度は小さな一歩を踏み出したに過ぎないかもしれませんが、これまでの取組をさらに発展させる新しい試みとして来年度も取り組み、広く発信していきたいです。

来年度に向けて

来年度は、今年度から取り組み始めた公民館等の社会教育との連携し地域の特産物を生かした商品開発体制の充実を図ることと、キャリア教育の充実のための体制づくりが課題と考えています。学校ではふるさと学習など力を入れて取り組んでいます。その取組で生まれたアイデアを具現化し、地域の活性化アピールにつなげていきたいと思えます。

また、月ヶ瀬は非常に人材にも恵まれています。広く活躍する人材などつなぐ体制をつくり、キャリア教育をより豊かで充実した学習にする支援体制の構築にも努めていきたいです。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見を しっかりと語れる子ども

取組目標

「ふるさとに夢と誇りを持とう」ふるさとの支援を受けながら、郷土愛を育て、ふるさとを守り、未来につないでいく生徒の育成

今年度の取組紹介

本校では自分たちの暮らす地域をより深く知るためにふるさと学習に力を入れています。各地区を巡り、歴史や伝統を学ぶふるさと Walk、職場体験学習、梅干しづくり、地域花いっぱい運動、闘茶会、紅花染体験、奈良晒体験、地域清掃、梅林清掃への参加など多くの活動に取り組んでいます。

今年は新たな月ヶ瀬を知ろうと、梅やお茶以外にそうめんやはちみつ、豆腐など製造に携わっておられる方を中心に訪ね、思いや願いを知る学習にも挑戦しました。

ふるさと学習の集大成は9年生が取り組んできた「月ヶ瀬中学校観光戦略課」の活動や今年から取組始めた月ヶ瀬の特産品を生かした商品開発で発信します。今年も、地域の方の協力を得て、近鉄奈良駅前で月ヶ瀬を大いにPRすることができました。



☞ 茶業振興会の方の指導による「闘茶会」

☞ こ小中合同で実施
梅の実採り



今年度のまとめ

ふるさと学習を通して、故郷を発見、故郷の良さを発信、故郷の文化をつなげたと考えています。また、ふるさとの抱える課題にも目を向けることができ、新しい試みにつなぐことができました。

本校の伝統でもあるアルミ缶回収活動は、今年で24年目になりました。今年度は「きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会」と「第20回環境美化教育優良校等表彰 優秀校」の2つの大きな表彰を受けました。福祉だけでなく、環境面でも貢献できたと評価していただけたと思います。

9年生がおこなった近鉄奈良駅前月ヶ瀬PR活動も、生徒だけではなく地域の様々な方が関わっていただき、メディアでも紹介され、成果を挙げることができたと思います。

来年度に向けて

少子高齢化の進むべき地であるが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。こども園・小中学校の子どもたちを地域ぐるみで育てる良い環境を今後も継続して構築していきたいと考えます。アルミ缶回収活動も継続して取り組んでいきたいです。また、広報活動に重点を置き若い世代の取り込みを積極的に進めていきたいです。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りをもち、自分の意見を しっかりと語れる子ども

取組目標

伝承芸能の継承、梅・お茶に関連した体験学習、万年青年クラブとの異世代交流など他校区にない特色ある活動を通して、ふるさとに誇りをもち大勢の前で発表したり、発信したりすることができる力。

今年度の取組紹介

月ヶ瀬小学校で取り組む地域学習は、地域の方々に支えられて成り立っています。例を挙げると、1・2年生では生活科の昔遊び、3年生のお茶の学習、4年生の地域の産業、5年生は尾山万歳、6年生では狂言を学びます。これらの良き先生となってくださるのが、地域の方々です。

子どもたちは、自分たちの暮らす地域の生活文化や習慣、産業、伝統文化まで幅広く月ヶ瀬を学んでいます。6年生になると、月ヶ瀬地域を活性化するにはどうすればよいかをテーマに、自分の考えをまとめ、発表します。

発達年齢や教科・領域などの学習との関連も考慮しながら、子どもたちは無理なく、自然と月ヶ瀬を深く知り、故郷を思う気持ちを醸成させています。

この学びはやがて中学校での学びにつながり、さらに発展、発信へと深化していきます。これから自分たちの地域を見つめ、深めていく取組を続けていきたいと思えます。



①

保存会の方による尾山万歳の指導

②

茶業振興会の方による手もみ茶体験



今年度のまとめ

小学校における学習活動は、学びの基礎基本が中心であり、しっかりとした礎を作ることが大切だと考えています。本校の場合、地域で唯一の学校であり施設一体型の小中一貫教育校という特性を生かすために、小学校ではこれまで取り組んできた地域学習に基盤を置き、取り組んでいます。

今年も多くの方々にご指導をいただき、月ヶ瀬の良さや課題を知ることができました。学びながら、月ヶ瀬の伝統芸能や文化の継承者として、次の世代をつないでくれるようこれからも取組を続けていきます。

来年度に向けて

指導して下さる地域の少子高齢化が進み、伝統芸能や文化の継承が危ぶまれるようになってきています。伝統芸能や生活文化を継承する人材の確保が難しい中、どのように続けていくかを地域も学校も考えていく必要が出てきています。

たいへん難しい課題ではありますが、子どもたち自身がそれらを継承していく自覚が育つように、これからもしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

めざす子ども像 ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見をしっかりと語れる子ども

取組目標 地域との繋がりを大切にして地域に親しみ、地域の産業に触れ、興味関心を持つ。

【今年度の取組紹介】

・夏野菜の苗植え

地域の方と一緒にキュウリ・オクラ・トマト・ピーマンカボチャ・スイカパプリカを植えました。植え方や水やりにし方、カバーの掛け方など教えてもらい、優しく植え、毎日水やり頑張りました。

・茶工場見学・陶芸体験・さくらんぼ狩り。

例年より、工場見学や陶芸体験の他に地域の方にお誘いいただき、さくらんぼ狩りにも行きました。さくらんぼの取り方を教えてもらいたくさん頂きました。

・染物体験

今年は、お茶と、身近な園庭に咲いているしろつめ草を、染めました。タペストリーにしたり、運動会の演技に使いました。

・梅とり、お茶会、お茶摘み。

小中学校のお兄さん、お姉さんと梅とりに行き、優しく取り方を教えてもらいました。お茶会、お茶摘み、お茶もみもしました。お茶を摘んで揉んで作ったお茶を飲みました。お茶会では、月ヶ瀬のお茶を1番・2番・冷茶と3回味わいました。



【今年度のまとめ】

地域の方の協力のもと、地域散歩などで地域に出かけ地域の方や月ヶ瀬の特産物に関わり、いろいろな発見に驚き、楽しい経験が出来、得るものが多くありました。福祉センターや香梅苑での交流でお年寄りの方に園の子ども達の様子を知ってもらい楽しいひと時を過ごすことでかわいいなあとすごく喜んでもらいました。子ども達も肩を叩いてあげたりして普段できない経験をしました。又、お茶の季節が過ぎても散歩に行くと茶山を見てお茶の思い出話をしていました。自分達が住んでいる地域に関心を持ち親しむ機会となりました。

【来年度に向けて】

様々な経験で得たことを次年度に生かせる様に又、目標に向け子ども達がさらにいきいきと活動できるように、事業内容を検討し進めていきたいと思ひます。